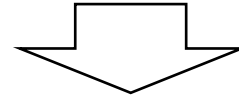


今後の進め方

令和8年5月19日

令和6年能登半島地震の発生

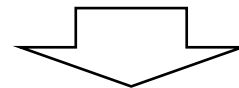


改正道路法の施行により道路啓開計画が法定化 (R7. 4)

<道路啓開計画に検討する事項>

- | | |
|---------------------|----------------|
| ①対象となる災害の種類 | ⑤資機材の備蓄・調達 |
| ②道路啓開の目標 | ⑥実践的な訓練 |
| ③優先的に道路啓開を実施する路線・区間 | ⑦情報収集・伝達 |
| ④道路啓開の方法 | ⑧その他（道の駅の活用など） |

※R7.12 北陸圏域道路啓開計画（地震・津波災害）の策定



石川県版道路啓開計画（地震・津波災害）の策定

検討する事項

① 対象となる災害の種類

対象災害は、「地域防災計画」などで想定されている地震を設定

〔北陸圏では、「近年、地域内で発生した最大規模の地震」で想定されている地震を対象災害として設定〕

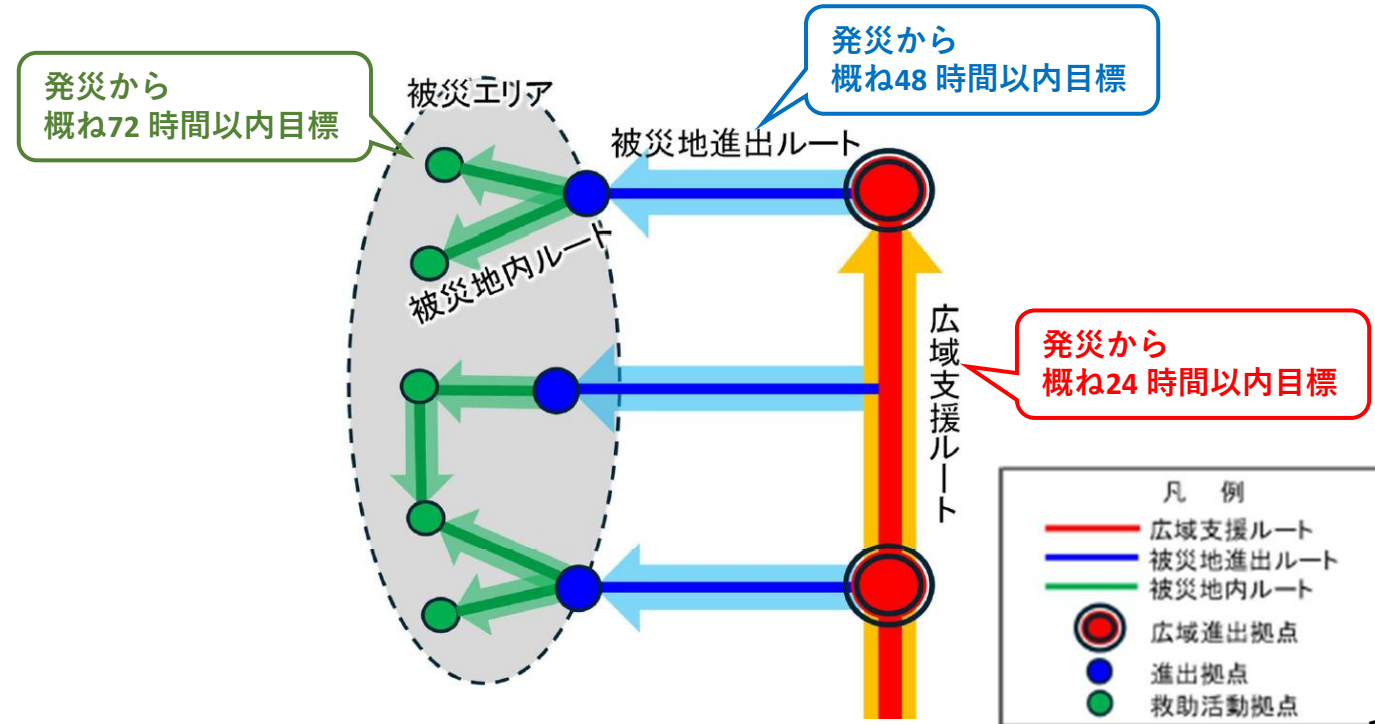
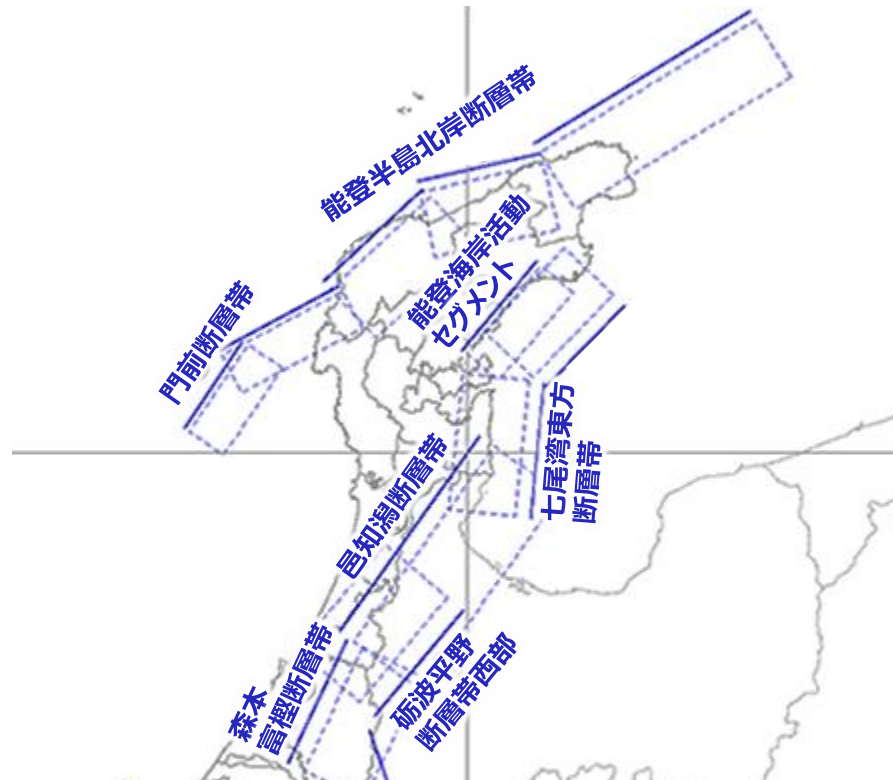
⇒石川県とその周辺で発生が想定される地震

② 道路啓開の目標

③ 優先的に道路啓開を実施する路線・区間

- ・発災から概ね72時間以内を目標
- ・対象拠点の選定（市役所や病院など）
- ・ネットワークの整備状況を踏まえ優先順位設定

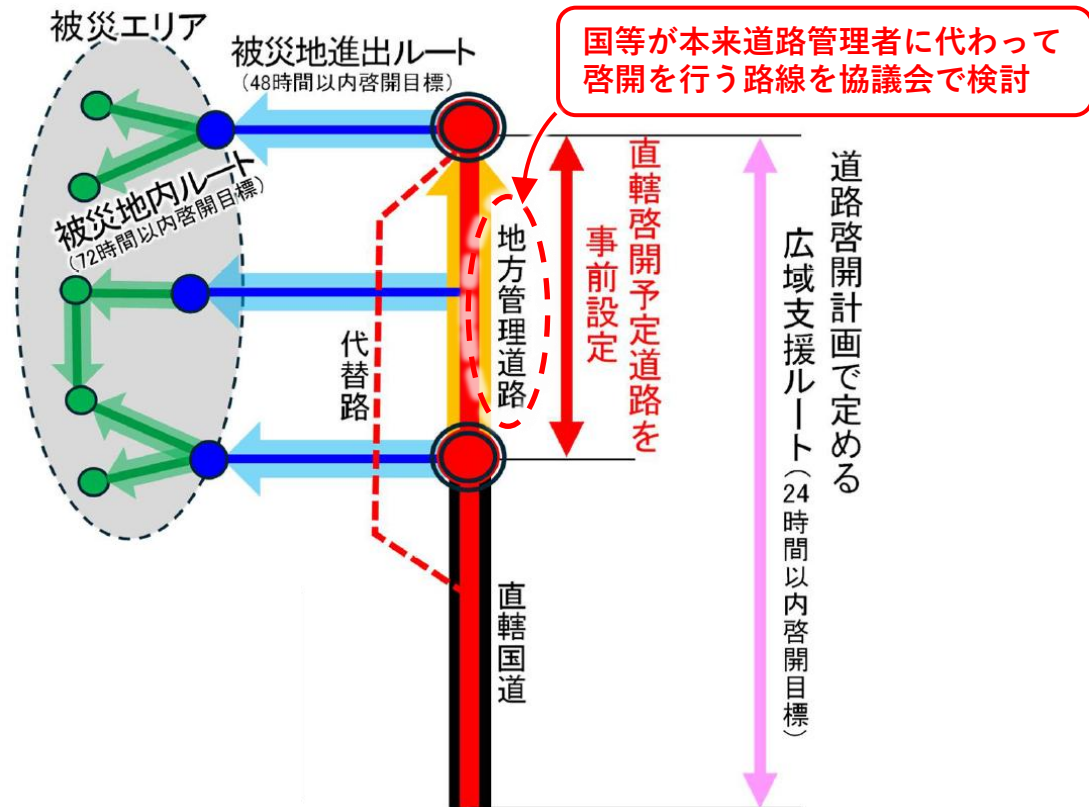
※陸路のアクセスが限られる場合は空路や海路を検討



検討する事項

④ 道路啓開の方法

- ・地震発生から72時間までに、道路管理者及び関係者が実施すべき事項について、役割分担を明確にしてタイムラインを作成
- ・大きく被災する場合も想定し代替路を検討

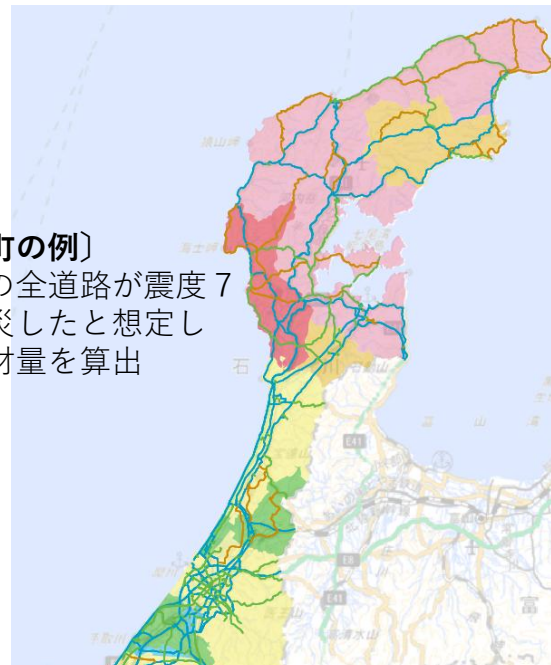


⑤ 資機材の備蓄・調達

- ・被災想定（橋梁等の段差、法面崩壊など）を基に資材（土砂や砕石など）の必要量を算出
- ・目標時間を踏まえ作業のパーティ数を設定し、機材（建設機械を含む）の必要量を算出

<北陸圏域道路啓開計画>

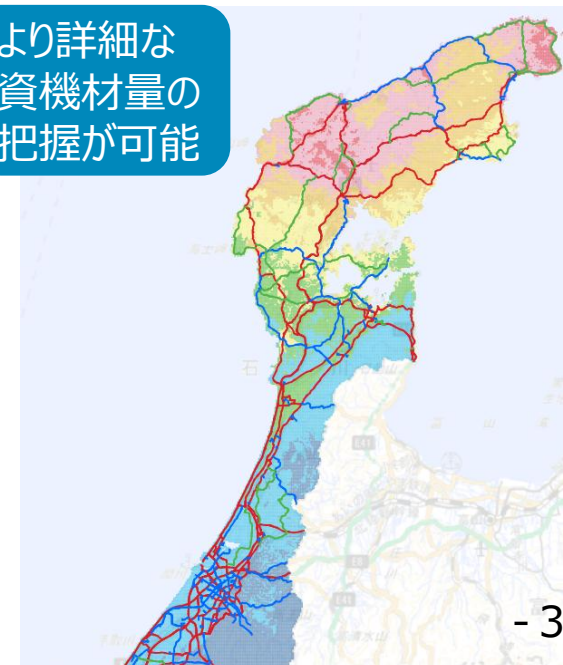
各市町で観測した震度を想定に資機材の必要量算出



<石川県道路啓開計画 (案)>

250mメッシュ毎に震度を想定し、資機材の必要量算出を検討

より詳細な資機材量の把握が可能



今後のスケジュール



令和8年
5月19日

第1回石川県道路啓開計画策定協議会

6月下旬～7月上旬

第1回
ワーキング
グループ

8月

第2回石川県道路啓開計画策定協議会

10月

第2回
ワーキング
グループ

最終とりまとめ

11月

第3回石川県道路啓開計画策定協議会

年内

石川県道路啓開計画(地震・津波災害) 策定・公表

※雪害、火山災害、風水害については別途策定予定